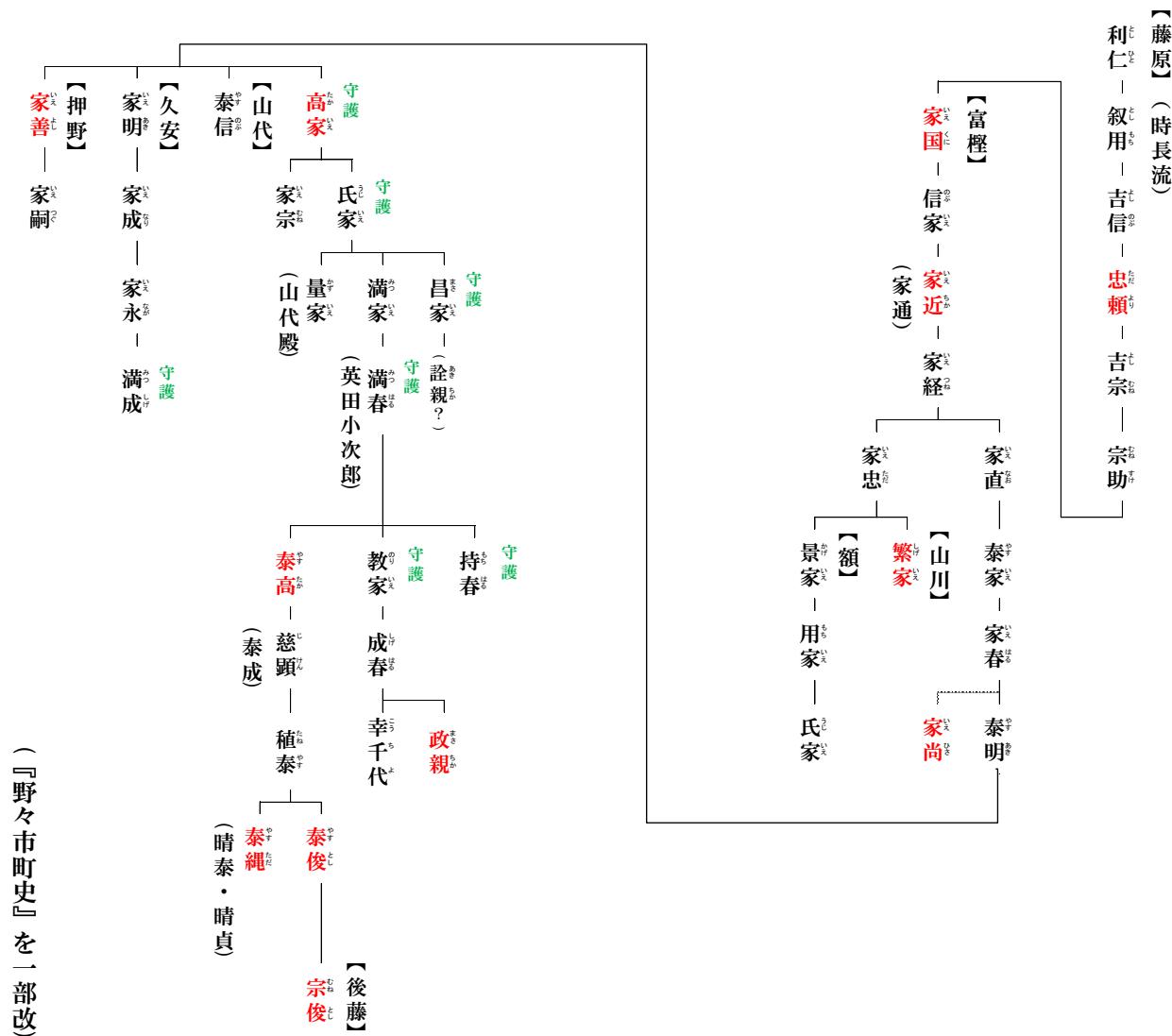


富樺氏系図



富樺氏略年表

()内の番号は、関係するパネルの番号です

時代	元号	西暦	富樺氏関係の出来事	日本での出来事
平安	延喜15年	915	富樺・林氏が先祖とする藤原利仁が鎮守府将軍になる	
			利仁から3代の忠頼が、加賀国に住んで「斎藤」と称する(⑤・伝承)	
	康平六年	1063	富樺家国が「富樺介」を称し、野々市に館を構えたとされる(⑤・伝承)	
鎌倉	長治元年	1104	富樺家近が稻荷明神を祀ったとされる(⑨・伝承)	
	文治三年	1187	弁慶が富樺館に立ち寄り、宴席の余興で巨石を投げたとされる(⑤・伝承)	源義経・弁慶らが京から奥州へ逃亡
	承久三年	1221	承久の乱で林氏の本家が没落し、富樺氏の勢力が拡大	承久の乱
南北朝	永仁元年	1293	富樺家尚が永平寺から徹通義介を招き、大乗寺を開く(⑥)	
	延慶二年	1309	徹通義介没する(⑦)	
	建武二年	1335	富樺高家が加賀守護となり、野々市に守護所を構える(①) この頃、富樺家善が押野に館を構える(②)	建武の中興(1334)
室町	暦応元年	1338	高家は足利尊氏の側近として室町幕府の成立に貢献する	足利尊氏、室町幕府を開く
	文明三年～	1471～	蓮如が吉崎(福井県)で道場を開く 越前や加賀で一向一揆が力をつけていく	
	長享二年	1488	長享の一揆により、高尾城で富樺政親が自害する	
	元亀～天正元年	1570～74	一向一揆により、富樺泰繩は傳燈寺で討たれ、富樺泰俊が越前で自害し 富樺氏の本家は滅亡する 富樺宗俊は越前から逃れ、ひそかに押野村字清水に居住する(③)	室町幕府が滅びる(1573)